

YPU Library

山口県立大学
図書館報
No.04

Yamaguchi Prefectural University Library



CONTENTS

- ・ 図書館長からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・ 電子書籍「Maruzen e-Book Library」利用方法について・・・・・・・・・・ 2
- ・ 陳澄波全集の寄贈について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・ 山口県大学ML連携特別展「時を想う～山口県立大学80年の歩み～」開催について・・・・・・・・ 3
- ・ ブックハンティング 2022 結果発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・ 開館カレンダー（2022年度後期）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・ 編集後記・・ 4

図書館長からのメッセージ

図書館の今 そして明日へ

図書館長 松尾 量子

今年5月に対面授業が全面的に再開され、学生がキャンパスで過ごす時間が増えました。図書館でも、閲覧席で本や資料を読んだり、レポートに取り組んだりする学生の姿を見ることが多くなりました。前期試験の頃には、1日の入館者数が400人を超えることもありましたが、試験が終わり、夏休みに入ると入館者は少なくなります。図書館では、例年、この時期に、普段は行うことが難しい施設整備を行っています。今年は、書庫の集密書架に安全バーを取り付ける作業と桜園寺内文庫の書架の増設を行いました。このため、8月末から9月にかけて、書庫の利用制限を行いました。利用者の皆様にはご不便をおかけしましたが、ご理解をいただければ幸いです。



学術情報の電子化が進み、図書館に求められる役割や機能は変化しています。今の図書館には、紙媒体の書籍や雑誌に加え、電子ジャーナルや電子書籍などを含め、質の高い学術情報を収集し、適切に提供することが求められています。紙媒体の書籍や雑誌については、これまで時間をかけて収集してきた蓄積をもとに、より一層の充実を図り、電子書籍については、その特性を考慮した収集方針を整えてゆきたいと思っています。専門領域によって状況は異なりますが、電子ジャーナルや電子書籍への対応は重要な課題です。今では、学外から、図書館HPを介して、各種のデータベースにアクセスすることで、制約はあるものの、時間や場所にとらわれることなく、図書館を活用することができるようになりました。図書館が提供できるサービスには限りがありますが、皆様に活用していただけるよりよいサービスを提供できるよう、図書館職員とともに努力していきたいと思っています。

電子書籍「Maruzen e-Book Library」利用方法について

現在、電子書籍「Maruzen e-Book Library」の無料試読サービスを実施中です。自宅からもアクセス可能で、学術分野等の図書が読める電子書籍サイトですので、ぜひ、この機会にご利用ください。

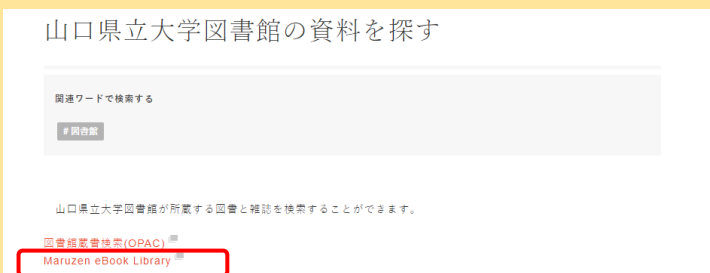
【試読期間】2022年5月18日（水）～2023年1月17日（火）

【試読可能点数】約87,000タイトル

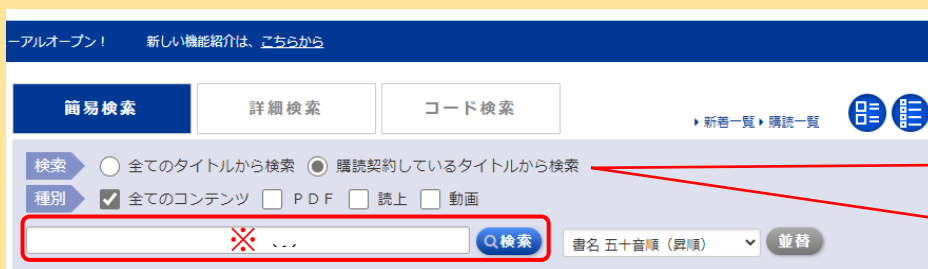
- ① 山口県立大学ホームページから、図書館のページに移ります
- ② 「資料を探す」項目から、「山口県立大学図書館の資料を探す」のリンクをクリックします



- ③ 「Maruzen e-Book Library」のリンクをクリックします



- ④ 検索窓（※）に、キーワード（書名等）を入力して検索します



「購読契約している
タイトルから検索」
に☑を入れます。

- ⑤ 検索結果から、読みたい図書のタイトル下にある「試読」または「閲覧」ボタンをクリックします



- ⑥ 「試読」の場合、5分でアクセスが切れますので、続けて利用する場合は、再度アクセスし閲覧してください。本学が購入済みの図書の場合の「閲覧」は、制限時間なく読むことができます。また、ダウンロードすることも可能です

陳澄波全集の寄贈について

一枚の絵がつかない台湾との縁

国際文化学部国際文化学科 教授 井竿 富雄

今年3月、安溪遊地本学名誉教授から連絡があった。「台湾・嘉義の陳澄波文化基金会からメールが来ているはずだから返事をせよ」。年度末に仕事のメールとスパムメールが混在している中で見落としていた。一読仰天。同会が12年かけて編纂し、2022年完結した『陳澄波全集』全巻を山口県立大学図書館に寄贈したいという申し出であった。直ちに返信、遅れた非礼を詫びて感謝を述べ、学部長や図書館長に連絡したのを覚えている。陳澄波(1895-1947)は台湾近代の画家である。台湾南部・嘉義の出身、台湾総督府国語学校時代絵画を石川欽一郎に学んだ。卒業後一度は教員になったが絵画への思いやみがたく、東京美術学校に留学、在学中作品が帝展に入選、その後画家として活躍した。第二次世界大戦後、故郷の市参事会議員に当選したが、1947年の2・28事件で不当に処刑された。民主化後ようやく名誉回復され、その画業が再び注目された。陳澄波が、防府出身の元台湾総督・上山満之進(1869-1938)に依頼されて描いた作品が『東台湾臨海道路』(1930年)である。長く行方不明とされたが、地元出身の歴史家・児玉識氏が2015年に防府図書館で発見した。児玉氏は関係があった安溪教授に連絡し、安溪教授は「陳澄波文化基金会」に連絡をとった。本学と台湾の縁がつながった瞬間である。折から台湾では日本統治時代に活躍した芸術家の業績再評価のさなかであった。また、山口では上山満之進の再評価が進んだ。筆者はこの時地域実習科目の担当者になり、一枚の絵から湧き出た不思議な力に引き込まれた。おかげで、陳澄波の青春の記録たる東京美術学校時代の講義筆記や、帝展参観の批評ノートを見るという貴重な機会にあずかった(安溪教授、吉永敦征准教授と筆者により翻刻され、全集の一部となった)。『東台湾臨海道路』はこの後、2020年末から台湾で開催された『不朽的青春』という展覧会で展示され、蔡英文総統もこの絵を参観した。この間、台湾では政府の支援もあり、陳澄波の画業や遺品、遺稿などを収集し記録するための事業が進められていた。それが今回寄贈された『陳澄波全集』である。この全集には、台湾苦難の時代に、歴史や文化の歩みを遺そうとした人々の労苦が詰まっている。残念ながら、『東台湾臨海道路』再発見者の児玉識氏と、陳澄波の子息陳重光氏は既に亡い。このことが痛切に惜しまれる。



山口県大学 ML 連携特別展「時を想う～山口県立大学 80 年の歩み～」開催について

山口県大学 ML (ミュージアム・ライブラリー) 連携事業の一環として、特別展「時を想う～山口県立大学 80 年の歩み～」を開催します。

本学は、昨年、創立 80 周年のメモリアルイヤーを迎えました。昭和 16 年の山口県立女子専門学校の創立に始まり、山口女子短期大学、山口女子大学、そして平成 8 年、男女共学化により山口県立大学と改称されました。この変遷を当時の写真、教材、校章、卒業証書などの展示を通じて振り返り、80 年という時の流れに想いを馳せます。

【開催時期】 11月1日(火)～1月30日(月)

【開催場所】 図書館1階(Main)

【展示物】 ・写真パネル ・歴代校章 ・当時の教材
・山口県立女子専門学校、山口女子大学、山口県立大学時代の卒業証書 等

ブックハンティング 2022 結果発表

7月11日（月）～8月9日（火）、図書館1階特設コーナーにて、ブックハンティングを行いました。本学司書と書店の選書スタッフが厳選した本を展示し、学生、教職員の皆さんに投票していただきました。たくさんの投票、ありがとうございました。

220冊のうち、投票の多かった120冊が図書館の蔵書になりましたので、ぜひご利用ください。

第1位：『読み解き！方言キャラ』 10票

第2位：『世界の美しい灯台』 9票

『Night on Earth 世界でいちばん美しい夜』 9票

『東京の美しい図書館』 9票

開館カレンダー（2022年度後期）

2022年度後期（2022年10月～2023年3月）の図書館開館カレンダーです。

休館日は変更になる可能性があります。

10月							11月							12月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
31																				

1月							2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
						1			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		
30	31																			

※ ■ 図書館休館日

編集後記

はじめまして。2022年5月から、図書館の配属になりましたYです。日々の業務を通じて、学内においても、今まで知らなかった図書館の魅力を発見する毎日です。図書館報では、そんな図書館の魅力を少しずつ発信していけたらと思っています。これを手にしたあなたに、「今日、図書館に寄ってみようかな」と思ってもらえますように。【Y】